

子どもの貧困と人権

① 自己紹介

② 山科醍醐こどものひろばって？

地域に住むすべての子どもたちが心豊かに育つことをめざし、地域の社会環境・文化環境がより良くなる事を大きな目的に活動しています。子どもと大人が一体となってものごとに真剣に向き合うことで、“共に育ちあいたい”との願いを大切にしながら日々の活動をしています。あらゆる人にとって自分らしく生きることのできる、人との交わりを大切にします。

●子どもたちとともにつくる活動

育ちの状況や関心にあわせ子ども達が主体的に関わる活動

●子どもたちとともにくらす活動

貧困世帯や、虐待、不登校、発達障害など生活上で支援が 必要な現状のこどもや家庭を支援。主に、個別での生活支援(夕食、入浴、余暇 など)や学習支援を行う

●子どもとともに育ちあう環境づくりの活動

地域の他組織や行政、学校機関などと連携し、こどもが暮らしやすい地域の創造と地域課題の顕在化、課題に対してアドボカシー実践

③子どもを取り巻く状況（2016年度～2018年度）

【子どもの貧困率】2015年の国民生活基礎調査結果（厚生労働省2017年）

- ・相対的貧困率：16.1%（2012年）→15.6%（2015年）改善
- ・子どもの貧困率：16.3%（2012年）→13.9%（2015年）改善
- ・ひとり親家庭の貧困率：54.6%（2012年）→50.8%（2015年）改善
- ・所得中央値：244万円（2012年）→245万円（2015年）改善
- ・貧困ライン：122万円→変化なし

【児童虐待】

相談件数：122,578件（2016）→133,778件（2017）→159,850件（2018）

身体的虐待：31,925件（2016）→33,223件（2017）→40,256件（2018）

性的虐待：1,622件（2016）→1,537件（2017）→1,731件（2018）

ネグレクト：25,842件（2016）→26,821件（2017）→29,474件（2018）

心理的虐待：63,186件（2016）→72,197件（2017）→88,389件（2018）

【いじめ】 認知件数：225,132件（2015）→323,808件（2016）

414,378件（2017）※児童生徒1,000人当たりの認知件数は30.9件
 小学校237,921件(前年度151,692件) →2017年度（速報値）317,121件
 中学校71,309件(前年度59,502件) →2017年度（速報値）80,424件
 高等学校12,874件(前年度12,664件) →2017年度（速報値）14,789件
 特別支援学校1,704件(前年度1,274件) →2017年度（速報値）2,044件

【不登校】小・中学校不登校児童生徒数：134,398人（前年度125,991人）
 →2017年度（速報値）144,031人

小学校31,151人（前年度27,583人） →2017年度（速報値）35,032人
 中学校103,247人（前年度98,408人） →2017年度（速報値）108,999人
 高等学校：48,579人（前年度49,563人） →2017年度（速報値）49,643人
 中途退学者数：47,623人(前年度49,263人) →2017年度（速報値）46,802人

【自殺】2017年度250人(前年度245人)

小学校6人(前年度4人)、中学校84人(前年度69人)、高校160人(前年度172人)

※京都市の状況（京都市のホームページより）

【児童虐待】（2016年度～2018年度）

認定件数：1,145件（2016）→1,328件（2017）→1,670件（2018）

身体的虐待：397件（2016）→437件（2017）→494件（2018）

性的虐待：11件（2016）→8件（2017）→20件（2018）

ネグレクト：222件（2016）→235件（2017）→235件（2018）

心理的虐待：515件（2016）→638件（2017）→921件（2018）

経路別の相談・通告件数及び認定件数の推移

年度	家族	親戚	近隣知人	児童本人	福祉事務所	児童委員	保健センター	医療機関	児童福祉施設	警察等	学校等	その他	計
26	86	26	338	5	84	11	60	25	65	185	117	370	1,372
	64	12	97	4	58	4	50	22	60	152	109	319	951
27	34	21	300	9	79	7	46	41	36	232	167	307	1,279
	27	15	83	4	36	1	37	34	32	213	151	280	913
28	53	25	282	9	53	6	50	33	39	429	179	385	1,543
	46	11	68	5	34	4	39	24	36	391	157	330	1,145
29	44	33	302	10	40	10	34	47	43	668	152	333	1,716
	40	22	89	8	28	4	27	44	39	604	128	295	1,328
30	66	37	392	6	12	0	78	45	41	907	173	371	2,128
	55	28	118	6	11	0	50	41	38	848	152	323	1,670

【いじめ】（2016年度）認知件数：2,221件（前年度比 \uparrow 1,703件）

小学校 1,118件 中学校 1103件

【不登校】（2016年度）小・中学校不登校児童生徒数：1,068人(前年度比 \uparrow 16件)

小学校 206人 中学校 882人

④山科醍醐こどものひろばの子どもの貧困対策実践：「当たり前」の埋めなおし。

- ・まずは安全・安心の確保（食事、居場所）
- ・自己肯定感の獲得（体験活動、学習支援）
- ・保護者のサポート（保護者会、サロン）
- ・小学校・中学校を応援（放課後支援、土曜教室等）
- ・人材育成、ノウハウ蓄積・共有
- ・地域の支援ネットワークの構築・活動応援
- ・子どもの貧困問題の周知・政策提言

※参考：動画：貧困を背負って生きる子どもたち 仁の物語

2010年夏から取り組んでいる「子どもの貧困対策事業」で出会った子どもたちの様子やエピソードをモデルにした作品。（<http://youtu.be/IWImZN7t9JQ>）

⑤考えておきたいポイント、視点など。

- ・まちのありかた・まちづくりが家庭・生活・子どもの育ちに影響する
- ・貧困が子どもの権利（未来）を奪う
- ・子どもからはじめる実践
- ・相談ができるという状態とは（関係づくりからはじめる）
- ・明確でないものの集積（子どもと家庭）と相続（困難の世代間継承）
- ・関わり続ける必要性・子どもが将来迎えるライフステージ
- ・「今」も必死だけど、「未来」も求められる。
- ・「足し算の言葉がけ」と「引き算の言葉がけ」
- ・子どもの貧困の再燃に備える。
- ・Sharing smile with your neighbor makes the world a better place
「笑顔を隣人と分かち合えば、世界はもっと良い場所になる」

⑥最後にご案内：書籍発売中

【新作】まちの子どもソーシャルワーク 価格：1,400円

【前作】子どもたちとつくる貧困とひとりぼっちのないまち 価格：1,200円

※かもがわ出版ホームページ・Amazon（通販サイト）でもお買い求めできます。

【子どもの貧困対策事業への寄付のご案内】

公益財団法人京都地域創造基金を通じて活動資金への寄付を受付けております。

- ・インターネットからのお申込（クレジットカード可：VISA・Master）<http://www.plus-social.jp/donation.cgi?pjid=11>
- ・郵便振替 京都地域創造基金寄付口座 00930-4-312262 通信欄に「山科子どもの貧困」と記入ください。
- ・銀行振込 京都信用金庫 本店 普通 2027687 公益財団法人京都地域創造基金